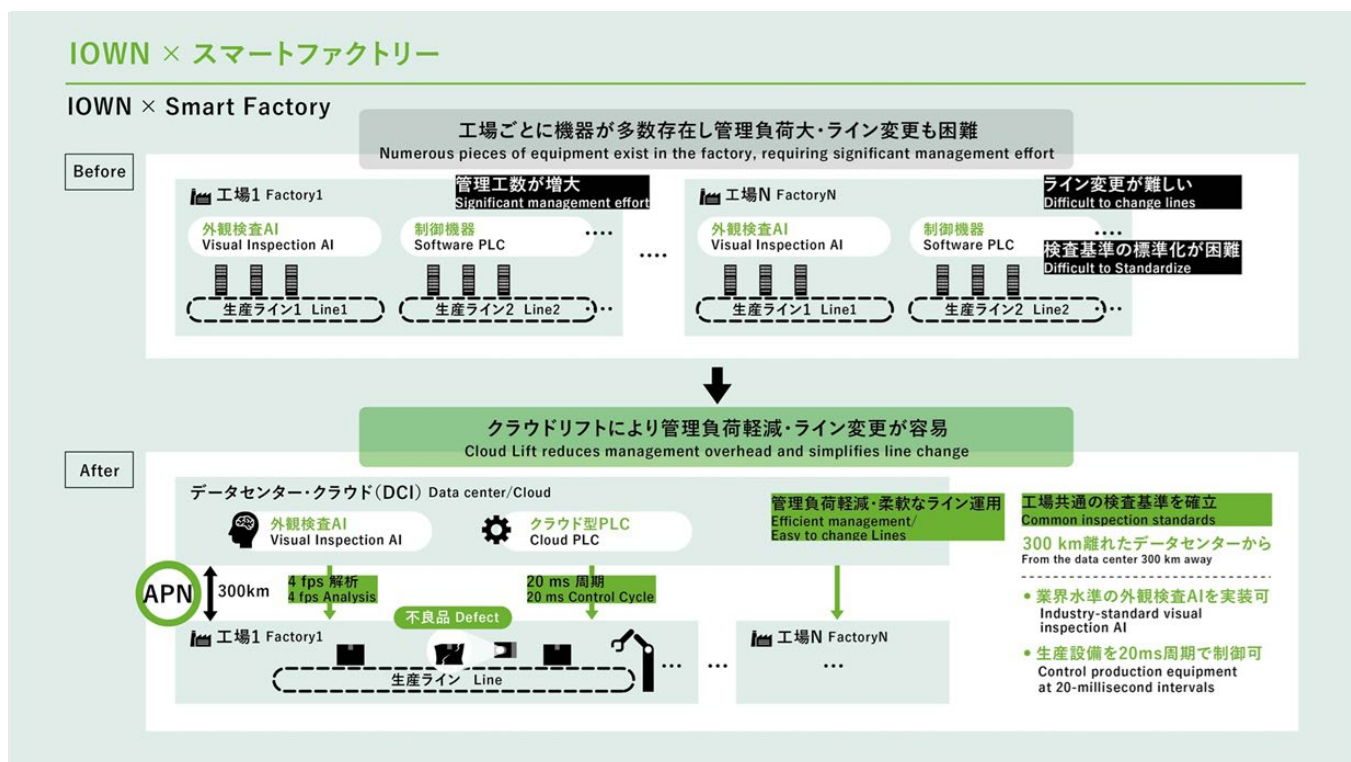


PLCと外観検査AIをクラウド集約し設備維持管理工数を削減、検査品質を統一します IOWN×スマートファクトリー

背景 – 技術課題

既存技術では高速・低遅延性を実現するためハードウェアを工場ごとに設置する必要があるため、多数の機器が必要となり設定変更や管理の工数や消費電力が増大し、また工場間で外観検査の品質にばらつきが出る問題があります。



研究目標 – 成果

設備管理業務の効率化による工場の労働力不足を解消します。
複数工場にまたがる設備制御と外観検査により統一品質基準の確立と生産性向上するとともに消費電力を削減します。

技術ポイント

01 要素技術

- オールフォトニクス・ネットワーク (APN)
- RDMA延伸技術

02 市中技術差異点

- 工場から300km離れたDCからAPNにより往復20ms周期の遠隔設備制御、RDMA延伸技術により4fpsのAI外観検査が可能です
- 各工場での検査基準をAI外観検査センタで均一化することを実現

利用シーン 製造業

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
NTT株式会社 IOWN プロダクトデザインセンタ

【問い合わせ先】
コンピューティングPF推進プロジェクト、APN推進プロジェクト

【共同出展社/社外連携先】
株式会社東芝、日東工業株式会社、
株式会社リョーサン、株式会社フレアオリジナル

【関連Link】